

2012年度 鉄緑会大阪校 合格者の声

※一部の方の抜粋です。

東大理Ⅲ

I.D. (灘卒)

質の高い授業と教材、最高の環境

僕は中1から6年間鉄緑に通いました。鉄緑の特長をまとめると、教材と授業、そして環境にあります。鉄緑の教材は、どの教科についても他塾に劣りません。一部教科だけ他塾といったナンセンスなことは考えず、すべて鉄緑に頼るべきです。先生は親しみやすいばかりで、受験に必要なことを的確に教えてくださいました。また、鉄緑は全国トップクラスの集団であり、その環境の中で切磋琢磨できます。本当に賢い子は必ず鉄緑に入るので。

授業では毎週復習テストがあり、ここで上位をとることは勉強するためのモチベーションになり、自信にもなります。僕はこの環境に中1からの6年間身を置きました。6年間通うメリットとは、基本から習えるため、鉄緑の洗練されたカリキュラムに沿って勉強さえすれば、無理なく自ずと必要な学力をつけられる点です。質の高い演習を多くこなせるからだだと思います。

最後になりますが、僕を合格に導いてくださった岡先生、鶴田先生、鐘本先生、藤原先生、岩重先生、岸先生、その他お世話になった方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

T.R. (灘卒)

この春、無事に東京大学理科Ⅲ類に合格することができました。鉄緑会は、演習量が多いのみならず、周りのレベルが非常に高い環境である点でも、合格への大変大きな一助になると言えるでしょう。特に後者は、間違いなく他塾では提供されえないものです。このような環境下において受験勉強を進めれば、志望校合格の実力は十二分に付きます。あとはその「実力」を本番で確実に発揮できるような精神力が必要になるわけですが、これに関しては普段の部活動や人付き合い等を通じて心の持ちようを学ぶことでも身につくので、その意味で勉強以外の活動もおおそかにしないでほしいと思います。長々と書きましたが、最後はお世話になった先生方、事務の方々、そして家族に感謝の意を表して終わりたいと思います。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

N.A. (灘卒)

中1から鉄緑に通っていますが、この6年間を通して思うことは、鉄緑は先生も生徒もレベルがものすごく高いということです。自分の得意科目の数学もSAとなると平均を割ることが多く、落ち込むこともありました。数学の授業は鐘本先生と鶴田先生の授業がとてよくて、そのおかげでより磨きをかけることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

K.E. (灘卒)

鉄緑会での3年間

高1で英語を受講して以来、3年間鉄緑会にお世話になりました。他を圧倒する演習量は何にもかえがたい自信になります。また、その緻密なカリキュラムに沿って復習を徹底し、全国屈指のライバルたちと切磋琢磨すれば、驚異的な実力が身につきます。本当に恐ろしい塾です。物理だけは他塾に通ったのですが、今思うと物理も鉄緑を選択しておけば良かったです。僕は何度かクラス落ちも経験しましたが、そのたびに親身なアドバイスをくださった先生方には感謝してもしきれません。最後になりましたが、お世話になりました英語の岡先生、数学の鶴田先生、増井先生、化学の藤原先生、谷口先生、物理の岩重先生、事務のお姉さま方、本当にありがとうございました。みんな愛してます。

東大理Ⅲ

A.H. (四天王寺卒)

学問の王道はここにある！鉄緑会に行こう！！

私は中1から英・数、高2からは英・数・物・化でお世話になりました。鉄緑会で特に強く感じる魅力を2つあげますと、ひとつは演習量の豊富さと問題の質の高さです。2つめは同じクラスで学ぶ仲間のレベルが非常に高いことです。これは学習意欲の維持に大変役立ち、長期戦での緊張感を保つのを可能にします。

高3のはじめにはお世辞にも合格圏内とはいえなかった私を時に厳しく、時に優しくご指導くださった先生方に深く感謝しています。特に英語の岡先生、井上先生、数学の鶴田先生、池崎先生、本当に様々な面で親身に相談に乗ってくださった増井先生、化学の藤原先生、渡部先生、物理の岩重先生、成績のふるわなかった時もいつもあきらめると励ましてくださった湯浅先生には心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

S.G. (灘卒)

受験における一つの理想的体系

鉄緑会の教材・カリキュラムは「大学受験」という一つの目的のもとに無駄なく編成されている。「ここには美しくするために加工した美しさが一切ない。ただ必要なもののみが、必要な場所に置かれた。そして、不要な物は全て除かれ、必要のみを要求する独自の形ができあがっているのである。(中略) そうしてこのやむべからざる実質さが求めた所の独自の形態が美を生むのだ。」(坂口安吾「日本文化私観」)このような美しさを鉄緑会のカリキュラムにも見てとることができる。

無論、個々の大学の二次試験のみに特化した対策が行われているわけではない。むしろ、例えば東大には出題されない和文英訳の訓練が自由英作文の語彙を拡充してくれたというように、鉄緑会のカリキュラムは学習の一つの理想をなしている。この網羅性こそが鉄緑会のカリキュラムの特長である。入試は精神面の戦いでもある。不安な時に「鉄緑会の教材をしっかりとやったのだから」と自信が持て、伸び悩み時期に「鉄緑のテキストの理解を徹底しよう」と指針が容易に立てられることの、精神的安定に与える寄与ははかりしれない。

鉄緑会のカリキュラムはこのように密であるため、丁寧な指導と精神的サポートがなかったら途中で投げ出していたかもしれない。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ

N.S. (灘卒)

圧倒的な質が揃っている

僕はほぼ全ての教科で鉄緑会のお世話になり、英語は中1から、数学は高1から、数ⅢC、化学、物理は開講と同時に受講を始めました。その間の演習量は自分では大変だとはあまり思いませんでしたが、どうやらなかなか多かったです。様々な問題に触れるので、どの分野でもアドバンテージを得られる学力が身につきました。模試などを見ても、鉄緑会生が上位を席巻しており、そのような人たちと同じ授業を受け、刺激を受けることができたのはとても幸運だったと思います。また、僕は先生にも恵まれました。僕が授業を受けていたどの先生も博識で、授業がうまく、そのうえ信頼できる方ばかりでした。このように、演習量、仲間、先生がそろった塾は他にないと信じています。鉄緑会にはとても感謝しています。長い間ありがとうございました。

東大理Ⅲ

N.R. (洛南卒)

鉄緑会に感謝

僕は中学3年の後期から鉄緑会に通い始めました。ちょうど

部活を引退し、そろそろ勉強モードに切り換えようかなと思っていた時期でした。最初のうちは周囲の人のレベルの高さに驚き、自分も負けないようにについていこうと思っていました。そして、高1の間はクラスの上位に入ることができ、その状態が続いていました。しかし、僕はここで調子に乗ってしまい、今自分が成績がいいのは積み重ねた努力のおかげだということを忘れ、高2になると、数学以外の教科は自分でできると思い込み、数学以外受講を取りやめてしまいました。取りやめたとたん自分に甘えてしまい、成績は落ちる一方でした。何とか合格することはできましたが、高3の1年間は大変な努力が必要でした。やはり、鉄緑会の先生方によって築き上げられた最良のレールから外れるのは危険だと痛感しました。この大変な期間を乗り越えられたのも、増井先生、鶴田先生、岩重先生、井上先生をはじめたくさんの先生方のおかげだと深く感謝しています。皆さんも鉄緑会を信じて、先生方を信じて、ぜひ合格してください。

東大理Ⅲ

T.T. (灘卒)

鉄緑会に感謝

鉄緑会へは高校から通い始めました。高1の初めの頃は英語など解説で何を言っているのかさえ分からないような状態でしたが、辛抱強く授業に通ううちにいつの間にか実力がついていくのが感じられました。高2になって理科の講座もスタートし、週5日鉄緑に通う生活が始まってからしばらくは、宿題も追いつくのがやっとでかなりしんどい日々が続きましたが、周りの友人たちの努力する姿に刺激を受けて踏ん張ることができました。高2のうちに理科の基礎固めをしっかりと終えることができたおかげで、高3になってから普通の現役生より優位に立つことができ、精神的にも余裕が生まれ、それがよい結果につながったのだと思っています。最後になりましたが、岡先生、乗本先生、岩重先生、鶴田先生、藤原先生、その他、お世話になったすべての方々、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ

F.K. (灘卒)

正しい道へと導いてくれる鉄緑会

僕は中学1年生のときに鉄緑会に入会してから6年間お世話になりました。名門と呼ばれる学校の生徒が多数在籍しているということで、入会した当初は基礎は無視して応用しか教えてくれないのかもしれないと不安でしたが、基礎からしっかりと教えてくださり、鉄緑会の授業の予習と復習をするだけで十分でした。また、質の高い授業、レベルの高いクラスという最高の環境において、復習テストや校内模試で良い成績を取るという目標があったことはモチベーションを維持するのに最適でした。そして何よりも、鉄緑会にはすばらしい先生が何人もいます。自分が志望校を迷ったり、どんな勉強方法をすればよいのか分からなくなったりして困っているときには、どんな些細なことでも相談に乗ってくださり、気軽に話しかけてくださります。それも、今まで教えていただいたすべての先生がそういう方だったので、本当に素晴らしい塾だと思います。お世話になった先生方、事務の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

K.M. (神戸女学院卒)

鉄緑会には中1の4月から通いました。高3の春の段階では特に物理・化学が間に合っておらず、それでも京大医学部に行きたいと言った私に先生方は驚かれたかもしれませんが、でも、先生方は誰も志望校を変えろとは言わず、たくさんのアドバイスをしてくださり、質問に行くといつも完全に理解するまで根気よく教えてくださいました。先生方のアドバイスにきちんと従い、鉄緑会のテキストを何度も復習すれば、必ず成果はあらわれてきます。今行き詰まっている人も、憧れの志望校を見つけて、その目標に向かって最後の最後まであきらめずにひたすら努力してほしいと思います。最後になりましたが、今までお世話になった先生

方には本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

H.Y. (洛星卒)

私が鉄緑会に入塾したのは高2の秋です。成績が思うように上がらなかったため、優秀な友達が通っていた鉄緑会に憧れをもてる気持ちで入塾を決意しました。鉄緑会には噂に違わぬ充実した課題を与えて下さり、またそれらの課題の全てが、私の素人目からもすごく内容の濃い問題だなと感じさせてくれるような良問ばかりだったので、苦痛に感じることなく“質と量”の両方をこなすことができました。また鉄緑会には本当に優秀な人達が数多くおり、そういった人達と競い合えるというのは鉄緑会の強みだと思いますし、実際私自身も、そういった環境に身を置いて受験まで臨むことができたというのは、大きな成績の向上、そして自信につながったと思います。受験までの勉強の日々は辛いことも多いと思います。私自身も最後の(私の場合、最初で最後でしたけど)校内模試では良い結果が出せず、夏と秋の大学別模試でも安心とはとても言えない結果を出してしまい、かなり落ち込みました。それでもチューターの先生や鉄緑会のおかげで第一志望校への熱意を持ち続けることができ、幸い合格することもできました。本当にチューターの森永先生、ならびに今まで担当して下さった全ての先生方、そして鉄緑会には感謝の気持ちで一杯です。今までどうもありがとうございました。

京大医学部

N.K. (洛星卒)

6年間鉄緑会に居て

僕は中1の4月に鉄緑会に入塾し、数学を6年間、化学を2年間お世話になりました。中学のときは受験をそれほど意識していなかったのですが、テストや課題をひたすらクリアしていくうちに力がつき、高校に入った時に自分の志望校を高めに設定することができた気がします。長い間お世話になった渡辺先生、鶴田先生、藤原先生、増井先生本当にありがとうございました。

京大医学部

I.O. (東大寺卒)

合格へ導いてくれた鉄緑会へ感謝

僕は高1の冬から入塾し、最初は数学だけでしたが、高2から英語、高3からは化学も受講しました。入塾当初、周りの賢い人に圧倒されながら毎週宿題をこなすのが大変でした。それでも毎回の授業は知らないことが多く新鮮で、授業の雰囲気も和やかで楽しく、全く苦にはなりません。特に生徒と先生の距離が近く、先生にはよく面談してもらい感謝しています。高2の後期に英語がA2に落ちた時、高3の夏休みに中だるみして勉強しなかった時など、何度も先生の言葉に励まされました。受験当日も岡先生をはじめ多くの先生が応援に来てくださり、落ちついて試験に臨めました。チューターの鶴田先生をはじめ、岡先生、藤原先生、鐘本先生、熊谷先生本当にありがとうございました。

京大医学部

N.Y. (洛南卒)

僕は中1から6年間、鉄緑会に在籍しました。この鉄緑会での勉強のおかげで、幸運にも第一志望校合格を果たすことができました。英語・数学は本当に、鉄緑の授業と問題集さえやれば十分だと思います。僕の後悔していることは、「化学をもっと早く始めておけばよかった」ということです。高2の1年間サボりすぎて、気がつけば超苦手科目になっていました。ようやく化学を受講し始めたのは高3の5月からで、それ以降はほとんどの時間を化学の勉強に費やしたといっても過言ではないでしょう。合格したから良かったものの、本当にもったいないことをしたと思います。もし不合格だったら言うまでもなく化学をやらなすぎたせいであり、悔やんでも悔やみきれなかったと思います。もし鉄緑会に通っていなかったらと思うとぞっとします。間違いなく今の僕はなかったでしょう。鉄緑会は最高の進学塾です。6年間で教わったすべての先生方に感謝します。

京大医学部

K.S. (洛南卒)

鉄緑会に感謝

僕は中1からの6年間鉄緑会でお世話になりました。中学の間は学校が遠方なうえ勉強以外でも忙しく生活していましたが、とにかく鉄緑会には欠かさず足を運んで授業を受け、課題に取り組んでいく中で、1週間単位の良い勉強のリズムを掴む事ができ、確固たる基礎力を築き上げる事ができました。高校からの鉄緑会のカリキュラムは質・量ともに充実してついていくのが大変でしたが、気がついたらどの大学でも受かる事ができるだけの実力が身につけていました。特に高2の後期で受講した数ⅢC、高3で受講した理科のおかげで、今まで無秩序に問題を解いていたのが、きちんと定石だった解き方が身につく、安定した点数がとれるようになりました。結果、理系科目に不安を残すことなく入試本番を迎える事ができました。成績が伸び悩み、くじけそうになった時もありましたが、チューターの鶴田先生をはじめと様々な先生からアドバイスや励ましの言葉をいただきました。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

京大医学部

S.S. (附天卒)

私の原点である鉄緑会

授業の進度が非常に遅い国立の学校に通っていた私は、鉄緑会に入っていなければ京医に合格することはおろか、目指すこともなかったと思います。特に、良い先生・良い仲間恵まれて勉強できたことが本当にありがたかったです。もちろん、不安もありました。レベルが高い周りと比べ、その差に嘆き、何度も岡先生に相談に行きました。先生は嫌な顔一つせず、その都度的確なアドバイスを下さいました。また、私が一番危なかったのは数学で、ずっとSAの底辺をさまよっていたのですが、鶴田先生は粘り強く私の数学と向き合って下さいました。本番では藤原先生の言葉に背中を押していただきました。岩重先生には、普段は散々厳しいことを言われましたが、本番は1日目も2日目も、休憩時間にまで応援にいて下さいました。最後の理科が上手くいったのは、きつと直前に先生の顔を拝見したからです。以上に挙げたこと——最高の環境、先生方の暖かさを受容できる塾は、鉄緑会をおいて他にはないと思います。

私は鉄緑が大好きでした。たとえ返ってくるテストが悪いと分かっている回でも、鉄緑に行きたくないと思った日はただの一度もありませんでした。受験生という辛い時期を同じ教室と一緒に過ごした仲間のことを、生涯忘れることはないと思います。最後になりましたが、岡先生、鶴田先生、藤原先生、岩重先生、増井先生、下仲先生、湯浅先生、音哉先生、鐘本先生、岸先生、事務員の方々、一緒に戦ってきた仲間達、そして夢と、それを実現する力と、たくさんの素敵な出会いをくれた私の原点ともいえる鉄緑会に、感謝を込めて。本当にありがとうございました！

京大医学部

N.R. (附池卒)

中1から高3まで6年間鉄緑会にお世話になりました。アルファベットの書き方から習いはじめ、最終的には東大や京大レベルの問題を解けるようになっていました。もし鉄緑会に通っていなければここまで成長することはなかったと確信しています。また、鉄緑会では本番形式での演習を多く経験できるため、入試当日はあまり緊張することなく、平常心で試験に臨むことができました。良質な演習、そして素晴らしい環境を提供してくれた鉄緑会には本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

Y.K. (洛南卒)

鉄緑さままでず

僕は、6年間鉄緑会にはお世話になりました。中学の間は、中高一貫の学校に通っている人なら、多くの人はあまり勉強をしないと思います。そうした状況を防ぐためにも、中学の間は、半ば強制的にでも勉強できる環境にいることは大切だと思います。そ

の点において、僕には鉄緑会がぴったりでした。高校になれば、いろんな学校の上位の人が鉄緑に集まってくると思うので、その周りの人の流れに乗って勉強すれば、どの大学にでも行くことのできる学力がつくと思います。また、年に2回行われる校内模試は大変重要です。クラス分けが関わってくるということもありますが、それ以上にテストに慣れることができます。やはり、受験においてはテストの現場での対応力がものをいうと思うので、校内模試は一回一回大切に受けるべきだと思います。最後になりますが、僕を担当してくださった先生方、事務の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

京大医学部

O.R. (灘卒)

僕は鉄緑会には高校2年のときから2年間、数学でお世話になりました。高校3年の6月まで部活をしていたこともあって、僕はとても真面目と言えるような生徒ではなかったのですが、それでも鉄緑会に週1回通っているうちに数学の力はついていったように思います。洗練された質の高いテキストとレベルの高い同級生、そして何と言っても親しみやすく信頼のできる講師の方々など、鉄緑会は最高の環境を提供してくれました。これから大学受験をする人も、鉄緑会を信じてついていけばきっと現役合格の道が見えてくると思います。最後になりましたが、乗本先生、織田先生、鶴田先生、そして事務の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

K.K. (灘卒)

僕は鉄緑会で高1から英語と数学、高2から数Ⅲと化学、高3から物理を受講していました。中学3年間、受験というものを含く意識せずに勉強して来た僕は、入塾して初めての英語の授業で行われた実力テストで、クラスの中で断トツの最下位をとってしまいました。しかし、鉄緑会に通い、与えられた課題をこなすうちに英語の解き方が分かるようになり、上位クラスを保つことができました。鉄緑会は宿題が多いというイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、決して無理な量ではなく、高1、高2の間部活に打ち込んでいた僕でもきちんとこなすことができました。そして、この豊富な演習量が、高3での受験勉強、ひいては受験本番における自信へとつながりました。また、鉄緑会の先生方は実際に受験を乗り越えて来た方なので、先生方のアドバイスは説得力があり、非常に役に立ちました。お世話になった先生方、そして事務の方々、本当にありがとうございました。

京大医学部

K.T. (東大寺卒)

鉄緑会での6年間

鉄緑会には中1から高3までの6年間お世話になりました。先生方の適切な指導の下で、日本一の母集団の中で揉まれながら、必要十分なカリキュラムをこなすことによって、「できて当たり前のこと」が増え、気付けば合格できるだけの十分な学力がついていました。それから、教室や自習室の空気を吸うことで緊張感を持って受験勉強をすることができました。こうして不安も油断もなく入試に臨み合格することができたのは、先生方や事務員の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

京大医学部

M.H. (四天王寺卒)

私は中1の春から6年間鉄緑会にお世話になりました。私が入会を決意したきっかけは、1つ上の学年で私の知っている先輩が校内模試の上位に載っていたことでした。あの人がこの塾に行くのなら、鉄緑会はさぞ素晴らしい塾なのだろうと思ったのです。その先輩は昨年東大文Iに現役合格されました。

入会してからは、鉄緑会のカリキュラムに沿って、出された課題に毎週きちんと取り組みました。途中、英語のクラスが落ちたり、数学がスランプにおちいたり、物理・化学の成績が伸び悩んだりという危機的な時期もありましたが、全体的には順調だったと思います。学業面でのパフォーマンスと精神状態は運動しま

す。成績が悪くなり精神状態が思わしくない時には、信頼できる先生に相談しました。鉄緑会の魅力は、先生方の面倒見が良いこと、教材の質・量がともに充実していること、周囲の生徒のレベルが非常に高いことだと思います。最後になりましたが、数学科の鐘本先生・鶴田先生、英語科の岸先生・岡先生・池尾先生、物理科の岩重先生、化学科の藤原先生、その他指導して下さった先生方、今まで本当にありがとうございました。

京大医学部

W.K. (東大寺卒)

鉄緑会に感謝

僕は高2の夏から化学と数学でお世話になりました。入塾するとすぐにレベルの高さと教材の質・量に圧倒されました。また、途中からということもあり、何をどうすればよいのかもわからず、ただ前の前の課題を必死にこなす日々が続きました。校内模試ではめでたく一番上のクラスに入ることができましたが、それからが本当に大変でした。いつもテストでは厳しい状況でしたがトップ層が集まる中、たまに上位で名前がのことでモチベーションを保つことにもつながりました。また、理科を早目に完成させることで直前期に苦手だった科目に時間をかけ、伸ばすことができました。この合格プランは鉄緑会なしでは達成できなかったと思います。短い期間ではありましたが、お世話になった先生方、事務の方々、そして何より支えてくれた家族には本当に感謝しています。ありがとうございました。

阪大医学部

T.T. (洛南卒)

僕が鉄緑会に入塾したのは高校2年の12月のことで、他の人に比べると大変遅い入塾でした。僕が鉄緑会への入塾を決めたのは、その圧倒的な合格実績と、友人から耳にする評判でした。学校のトップ層はもちろん、全国模試の成績優秀者もほとんどが鉄緑生。自分がその中でどれくらいのレベルなのか、どの程度勝負できるのか、それが動機でした。いざ入塾試験を受けて入塾してみると、そこでの授業は僕の想像をはるかに越えたものでした。これが日本の受験生の最上位層なのかと身をもって味わうことができました。高校3年ではA2クラスでしたが、A2でも全国模試で一桁の順位を取る生徒が複数人いたというのが、鉄緑のレベルの高さを端的に物語っていると思います。今から振り返ると、せめて高校2年の頭から入塾しておけば良かったと思いますが、僕みたいにこんなに遅い時期の入塾でも合格することができたのは、鉄緑会の素晴らしい環境のおかげだったと思います。最後になりましたが、お世話になった先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。

阪大医学部

H.R. (洛南卒)

諦めない

僕は高1から鉄緑に通い始めました。中学ではサッカーばかりして勉強をほとんどしていなかったので、Cクラスからのスタートでした。それでも、根拠もなく「自分はやればできる」と信じていたので、医学部に行くなら何としてでも阪医に行こうと考えていました。なかなか思うようには成績も伸びませんでした。それでも自分の信念を曲げることだけはしたくなかったので、下仲先生をはじめ沢山の先生に支えていただきながら最後まで頑張ることができました。やはり大切なのは気持ちです。最後まで諦めないで下さい。そうすれば鉄緑は必ずあなたの助けとなってくれるはずです。長くなりましたが、3年間本当にありがとうございました。

阪大医学部

Y.Y. (灘卒)

鉄緑会が全て

僕は中1の夏から6年間鉄緑会に通い、他塾は全く行きませんでした。高2までは部活もあり、さほど必死に勉強していたわけではありませんでしたが、鉄緑会の授業の内容がハイレベルで、かつ与えられる課題も豊富だったので、自分に必要なものを

できる範囲でこなしていくことで、学校でも上位の成績を維持することができました。特に高2になると講座が週5回に増え、部活も忙しくなりましたが、授業だけは絶対に集中して受け、無理なく課題をこなすうちに、高3になって部活をやめ、受験勉強に集中するようになると、それまでに鉄緑会で学んで頭の奥底にしまいこまれていたものが、授業の内容とリンクして次々と活性化されていきました。物理・化学の学習も順調で、夏ごろには大体が完成し、数学も授業の進行とともに確かな伸びを感じ、苦手だった英語も一定のレベルに達しました。僕ははじめから阪医志望だったのですが、知らないうちに理ⅢのA判定を安定して出せるくらいの実力が付いていました。おかげで安心して受験を迎えることができました。これは全て、6年間継続して受けた鉄緑会の授業のおかげです。迷惑をかけた湯浅先生、織田先生、高3の1年間お世話になった乗本先生、藤原先生、岩重先生、チューターとして面倒を見て下さった門場先生、僕を教えて下さった全ての先生方、事務員さん、本当にありがとうございました。

阪大医学部

M.K. (洛南卒)

現役合格に特化したカリキュラム

僕が鉄緑会に入会したのは中学1年の時で、それ以来英語・数学は6年間、化学は高校1年からお世話になりました。鉄緑会の大きな強みは、その綿密に組まれたカリキュラムにあります。1つ1つこなしていくうちに、最初はおぼつかなかった学力が第一志望に現役合格を果たせるまでに伸びました。特にその成長を実感したのは、高2・高3での数学の授業を通してです。高2の間は前期・後期ともに増井先生にお世話になりました。高2ではテキストのレベルが上がり、さらに先生の用意して下さった演習問題はどれも高度なものだったため、ついていくのは決して容易いことではありませんでしたが、先生は僕が思考をめぐらせばめぐらせたぶん丁寧に評価して下さり、それがハードな内容についていく原動力となりました。先生のお蔭で、費やした努力が最大限に報いられて、特に思考力に関しては飛躍的な伸びを実感できました。高3では鶴田先生に面倒を見ていただきました。鶴田先生のテスト演習は一筋縄では行かないものばかりで、毎回僕は苦戦していましたが、復習を徹底するうちにあらゆる形式に対応できるようになりました。また、このクラスでは全国模試の上位者が何人もいるような環境で、気圧されそうにもなりませんが、同時に上には上がいるという思いから慢心することなく、受験直前までモチベーションを保てたことも合格に大きく寄与したと思います。さらに、鉄緑会のおかげで英・数は高2の終わりにはある程度仕上がっていたために、高3では理科に存分に時間をかけることができ、それが大きな成長に繋がったと思います。特に、化学の渡辺先生が豊富で質の高い演習を提供して下さったことが大きかったと思います。また、渡辺先生は僕と出身校が同じであることもあり、勉強以外の相談にも数多く乗っていただきました。最後になりますが、井上先生、鐘本先生、藪下先生をはじめ、今まで僕を支えて下さった先生方並びに事務の皆さんには大変感謝しております。6年間本当に有り難うございました。

阪大医学部

K.M. (洛南卒)

量・質ともにトップクラスを誇る塾、鉄緑会

僕は中学3年の途中から英・数と鉄緑に通い始めました。入塾したてのころは学校よりもはるかに難しく、はるかに先の分野の授業で、自分はこのなにも遅れていたのかという焦りと落胆が原動力となり、勉強により真剣に取り組もうという気になりました。学校の進度が遅いことが悪いものではありませんが、鉄緑会では高度な学習の質を保ったまま、高2までには受験に必要な武器がそろうほどにまで指導して下さいます。最初は課題を身につけるのがなかなか大変でしたが、数学は元から好きだったこともあり、ストレスは感じませんでした。やはり勉強というのはま

ず好きになることが大事ですよ。鉄緑は数学という教科をより興味深くしてくれるところでもあります。ただ、英語はなかなか伸びるきっかけがつかめず、高2の前半までは苦戦しました。しかし、歳も近く話しやすい先生方に粘り強く相談し続け、ようやく高2の後半から安定するようになりました。受験勉強の苦労と涙をまだ忘れていない大学生がそばいてくれるのも鉄緑会の魅力であります。周りにいる天才達と共に勉強できるのも鉄緑会の強みです。僕の現役合格は、間違いなく鉄緑会、友人、家族によって生み出されたものだと言っても過言ではないでしょう。お世話になった方々、本当にありがとうございます。

阪大医学部 K.M. (甲陽卒)
鉄緑での2年間

僕は高2の前期から数学と英語を、後期から物理を受講していました。初めは鉄緑の莫大な量の課題を全然こなすことができず、特に苦手だった英語はレベルの高い授業についていけずかなりサボっていました。もう少し早くから通っていた方が良かったと思いました。それでも高2の夏の校内模試で英語が33点だった悔しさをバネにして後期からしっかり勉強をすると、少しずつ英語の成績が伸びて、最終的には一番安定した科目になりました。他の教科においても、予習や宿題が難しくても、しっかり取り組みれば鉄緑は授業も教材も良いので力を着実に伸ばすことができました。また、受験直前の精神的につらい時期は先生方が何度も面談をしてくれましたので乗り越えることができました。お世話になった先生方の良い報告ができて本当に良かったです。最後に、高3でお世話になった切通先生、湯浅先生、塚崎先生をはじめ、高2や講習でお世話になった先生方、事務所の方々、本当にありがとうございました。

神大医学部 K.Y. (神戸女学院卒)

私は鉄緑会で4年間お世話になりました。学校行事で鉄緑会の勉強がおろそかになった時期もありましたが、何とかやりとげることができ、このことが合格につながったと思います。最後になりましたが、お世話になった熊谷先生、乗本先生、井之口先生、田口先生、本当にありがとうございます。

京府立医大医学部 H.M. (洛南卒)

私は鉄緑会に中1の夏から入りました。鉄緑会は毎週テストがあり、定着度をすぐに確認することができるので、私にとって良いモチベーションになりました。鉄緑会の強みは何といっても豊富な演習量だと思います。全てこなせばこの大学にも行けることは間違いありません。逆に、中途半端にしてしまうと成績は伸びません。自分が取った科目の課題は必ず取り組みましょう。全てこなせば大きな自信になります。受験において自信は大きな武器になります。皆さんも自信を持てるような勉強をして下さい。最後になりましたが、今まで私を支えて下さった先生方、最後まで支えてくださり本当にありがとうございました。

慶應大医学部 K.K. (大阪星光学院卒)

悪夢の1月16日からの再出発

僕は国語が苦手な易化したと言われた今年のセンター試験でも失敗してしまい、周りの人達と大きく点数差をつけられてしまいました。センター試験の1月16日から3日間は部屋に閉じこもって、ただただ悲しんでいました。しかし、悩んでいても何も始まらないと思い、一念発起し、ひたすら赤本の演習をくり返しやりました。結果、合格することができました。ここまで来れたのも鉄緑会のカリキュラムと精鋭なライバルの存在のおかげです。今までのクラスも決して順調ではありませんでした。数学は高2までSAでしたが、夏でBクラスまで落ちてしまい、英語も努力してもなかなかクラスが上がらませんでした。努力し続けました。後輩の皆さん、決してセンター試験を馬鹿にしないで下さい。痛目に遭います。

大阪市大医学部

Y.A. (神戸女学院卒)

鉄緑での6年間

周りはほとんど医学部志望だったり、東大・京大志望だったりと非常に高いレベルの環境に身を置くことで、常に向上心を持って勉強に臨むことができました。毎回の復習テストも鉄緑会の大きな魅力の一つだと思います。通っていた頃は苦痛だったこともあります。今思えば、単元ごとの自分の得手・不得手が把握しやすく、成績表で自分のレベルを確かめられるので、非常に良かったなあと思います。また、先生が比較的年の近い大学生の方が多く、相談や面談を気軽にいただけるのもすごく良かったです。私が現役で医学部に受かって、春から大学生になれるのもひとえに鉄緑のおかげです。ありがとうございます！

滋賀医大医学部 S.R. (海星女子卒)

鉄緑会には中1から6年間お世話になりました。中学受験をしなかった私にとって、鉄緑会は初めての塾でした。最初はレベルの高さに苦戦しましたが、宿題をこなし、毎回復習テストを受け、授業を聞いているうちに自然に学力がきました。学校との両立に苦労するという事は全くなく、むしろ対策を全くせず定期試験を受けても英数は常に上位にいられました。そのぐらい鉄緑のテキストは良いです。受験勉強の最後まで使っていました。高3からはほぼ毎日自習室へ通いました。鉄緑会なくしては私の医学部現役合格はありえませんでした。担当して下さった先生方、特に高3でお世話になった井之口先生、下仲先生、田口先生、チューターの中野先生には、精神面でも支えていただき本当に感謝しています。ありがとうございます。

滋賀医大医学部 S.H. (洛南卒)

鉄緑会での6年間に感謝

私は中1から6年間、鉄緑会でお世話になりました。中学時代は部活一辺倒で、特に中3のときは鉄緑の授業はほとんど欠席、出席しても1時間遅れといったことが多く、悲惨な状態でした。高校に入ってからのツケが回ってきて、勉強に追いつくのに必死で辛い思いをしました。最終的に医学部に合格することができたこと、また鉄緑に通い続けることができたことは、先生方のご指導とレベルの高い周囲のおかげだと思っています。また、充実したテキスト内容は勉強する上でたいへん心強かったです。特に英語は他塾と比べものにならない程素晴らしいと思います。私はセンター後に、英語に独特の傾向がある単科の医大を志望校に決定しましたが、短い練習期間でこの入試問題に太刀打ちできたのは鉄緑での演習のおかげです。鉄緑会に入って本当に良かったと思います。今までお世話になった皆さんの先生方、事務の方々に感謝しています。本当にありがとうございます。

富山大医学部 M.K. (神戸女学院卒)

私は数学は中1から、英語は高1から、物理・化学は高2から鉄緑でお世話になりました。英語は高1から湯浅先生にとてもお世話になり、大変でしたがそのぶん高1で英語の成績は格段に上がりました。私は高3までボクシングを続けてきて、しんどいこともありましたが、そんな時も鉄緑の先生方は親身に面談などをして下さり、私の不安をとりのぞいて下さいました。高3のクラス分けの試験では失敗してしまいましたが、1年間基礎からじっくり学習することができ、第一志望に合格することができました。高3のクラスでは入試本番と同じ形式のテスト演習があり、毎回の授業で本番を意識して学習に取り組むことができました。最後になりましたが、いろいろ相談に乗って下さった湯浅先生、佐野先生、水野先生、石内先生、直前期に過去問の添削をして下さった竹村先生、井之口先生、辻先生、平田先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。

東北大医学部 O.K. (京都教育大附卒)

高1のとき、学校の成績はそこそことれていたもので、鉄緑会

でもそれなりに通用すると思っていました。しかし、いざ入塾してみると周りのレベルの高さに驚き、自分が完全に井の中の蛙であったことに気付かされました。そこから与えられた課題をしっかりとこなしていったことで、現役合格することができました。実際毎日夜遅くまで授業があり、その上たくさんの宿題に追われて音を上げそうになったことも何度もありました。それでもとにかく自分のクラスの復習テストでは成績表に名前を載せようといった小さい目標を立てながら、3年間やり切りました。また、学校とは異なり、速い進度であったことも魅力の1つであったと感じます。高1の時点では他の鉄緑生にかなりビハインドを負っていた分、モチベーションの維持にとっても適していたと思っています。高3からは、より受験に対して実感的なカリキュラムで、実際本番でも大いに助けられました。センターで大コケした分を2次で挽回できたのも鉄緑会のおかげです。これまでお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

京大法学部

E.M. (星光卒)

感謝

鉄緑会には高校1年生の中盤に、数学と英語を入塾しました。入塾当初は難易度の高い授業や課題に戸惑い、逃げ出したくなることもありましたが、鉄緑会の先生方の丁寧な御指導のもと、何とか乗り切ることが出来ました。鉄緑会の授業は高度で質が高く、かなりのレベルアップができたように思えます。そして何より先生方の質問受けや面談、特にセンターに関しては大いに救われました。センター失敗後、絶望感にうちひしがれていた時に鉄緑会で救われなかったら、そのまま腐っていたように思います。数学科の欠田先生にはお忙しい中で過去問10年分以上にも及ぶ添削を行ってもらい、本当に迷惑をかけました。最後になりますが、高3の英語をもっていたいただいた藪下先生、高2でお世話になった律先生、小林先生、センター後の数学の答案の書き方を固めてくださった欠田先生、本当にお世話になりました。

京大法学部

O.R. (神戸女学院卒)

校内模試がなかったらだめでした

私は中学1年から6年間鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会には尊敬すべき先生方や質量ともに良いテキストやテスト、さらに切磋琢磨できる生徒達がすべてそろっていて、環境面において私はとても恵まれているなと感じることが多々ありました。しかし、私は恵まれていることになれてしまったせいか宿題などが滞ることが多々あり、日々のテストも浮き沈みが激しく、とてもだめな生徒でした。でも、そんな私を時々いましてくれたのは先生方と校内模試でした。特に、校内模試は質の良い問題に実践的なテストという形式に慣れるという利点もありますが、たるんでいて消化不良を起こした分野がもし校内模試にでたら困る！と思うことで自然と重点的にその分野に取り組みました。校内模試がなければ私は糸の切れた凧のように飛んでいってしまったでしょう。最後になりましたが、チューターの藪下先生をはじめとするすべての先生方や事務員の方々、本当にありがとうございました。6年間鉄緑会につづけて本当によかったです。

京大工学部

S.Y. (甲陽卒)

僕は、高1から鉄緑会に入会し、3年間数学を学びました。鉄緑のいいところは、「とても高いレベルの受験生が集まっている」ということです。僕は学校では比較的数学ができる方で、他塾ではトップクラスの成績でした。しかし、塾を鉄緑に変えてから、自分が「井の中の蛙」だったという事を思い知らされました。みんなとても真面目で、課題に毎週きっちり取り組み、それ以上のことまでしている人もたくさんいました。不真面目な僕は、テストはいつも平均以下で、クラス分けのテストでA3からBクラスに落ちてしまいました。高2の夏くらいまでずっとその調子だったのですが、先生に叱られてようやく火がつき、高2の

最後のクラス分けテストでAクラスに上がることを目標にして、がんばって勉強しました。(がんばったと言っても、宿題と復習をまじめにやっただけです。)その結果、A1クラスに上がることができました。高3になってからは、今までやってきたことを復習するだけで良いので楽でした。授業ではテスト形式で、みんなと点数を競うのが楽しかったです。後、二次試験全日に、「入試数学確認シリーズ」という鉄緑で配られた本を全部見直ししました。そしたら、当日の試験で似たような問題がたくさん出て、すらすら解けました。皆さんもぜひやってみてください。

最後になりましたが、不真面目な僕の後押しをしてくださった鉄緑会の先生方、本当にありがとうございました。

京大工学部

S.R. (四天王寺卒)

私は中3から鉄緑会に入塾しました。入った当初はあまりの課題に圧倒され、1週間のノルマをこなすことすらできませんでした。しかし、その量に慣れてきた頃には、積み重ねてきた演習量のおかげなのかだいぶ実力がついてきたことを身を持って実感できました。鉄緑会の良いところはまさにこの何度も繰り返して問題演習をすることで実力を確実につけていけることだと思います。はじめは何だかよくわからないなあと思うことでも、鉄緑のあの演習量をこなせばいつの間にかできるようになると鉄緑会は私に教えてくれました。根性なんて全然なかった私も、鉄緑のおかげで少しはねばり強さを持たせたかなと今では思いますし、これが今後の大学生活でも大いに役立つだろうと期待しています。最後に英語をいつの間にか得意にして下さった熊谷先生、高3の1年間、チューター、そして恩師として私の面倒を見て下さった藪下先生本当にありがとうございました。

京大理学部

Y.T. (洛南卒)

とりあえず鉄緑会に入りましょう

僕は中学2年生の時から5年間、鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会は量が半端なく多く、ペースをつくるまで非常に大変ですが、何をすればよいか、ということが明確に示されているので、その点では楽です。まずは英語数学ですが、この2つの教科は中学のうちに基礎を完成させておくことが必要だと思います。高校に入ると文化祭や体育祭などで忙しくなりますし、勉強しなければならぬ教科も増えるので、今さら英文法がどうのこうのと言っているようでは確実に出遅れます。次に理科ですが、これは高2からでも十分間に合います。ただし、高2の時の基礎編は毎回の授業を真面目に取り組みましょう。高3になって「この分野分らんわあ〜」などと言っていれば遅いです。

結論：鉄緑会で英数を中学から、理科を高2から受講し、出された課題をきっちりこなせばどこでも受かる。たぶん。

最後に、お世話になった増井先生、鶴田先生、湯浅先生、岩重先生、渡部先生、辻先生、その他にもお世話になったすべての先生方、事務の方々へ、本当にありがとうございました。

京大理学部

M.M. (神戸女学院卒)

中2からお世話になりました。通い始めたのは周りの友達を通してからのという単純な理由からでしたが、今考えると鉄緑会を選んだのは正解でした。鉄緑会の良いところは、演習量の多さと教材の良さ、周りのレベルの高さだと思います。

中学の頃は与えられた鉄緑会の課題をやっているだけで基礎力がつき、校内模試や学校の定期考査でそんなに苦労することはありませんでした。高校に入るとレベルが上がり、数学の成績が伸び悩んでしまいました。ですが、テキストを繰り返し復習することで自然と成績が上がりました。理科に関しては、鉄緑会では他塾に比べて始まるのが遅く、中学のときから他塾に通うべきかと迷いましたが、英数をほぼ完成させてから理科という鉄緑会の方針に間違いはなく、高校からで十分でした。こちらもテキストを繰り返し復習することで実力がついたのが感じられました。

鉄緑会には東大や医学部を目指す人が多く、私と志望校が同じ人は数人でした。でも、そのようなレベルの高い友人達に囲まれて勉強することで良い刺激になり、気持ちに余裕を持って受験することができたのだと思います。チューターの藤原先生をはじめ、乗本先生、増井先生、藪下先生、熊谷先生、岩重先生、湯浅先生、渡部先生、田口先生、下仲先生、その他お世話になった先生方、事務員さん、家族の皆、本当にありがとうございました。

京大薬学部 N.T. (洛南卒)

僕は高1から英語と数学を受講し始めました。最初は学校との両立をしようとしても上手くいかず、どっちつかずで中途半端になってしまい、一度は数学を辞めてしまいました。しかし、そのあとでやっぱり鉄緑がいいと思い戻ってきました。それから鉄緑に行っていなかった分の遅れを取り返すべく一生懸命勉強しました。先生方も回り道をした僕にも丁寧な指導をして下さいました。そのおかげで直前講習の頃にはなんとか周りの人にも追いつき、その勢いで無事現役のうちに合格することができました。本当にこの3年間ありがとうございました。鉄緑会で学んだ多くのことをこれからの未来につなげていきたいと思っています。

東大理 I O.F. (清風卒)

僕が鉄緑会に入塾したのは高2の1月頃と遅めでした。初回の授業から、授業内容や周りの生徒のレベルの高さにただただ圧倒されていました。自分が周りの生徒に比べて相当な遅れをとっていることを痛感して暗い気持ちになりましたが、それでも授業で扱った内容はしっかりと復習し、必死になって勉強しました。そこで大いに役立ったのが鉄緑会の自習室でした。ここでは他では味わえないような特別な緊張感が漂っていると思います。その中に身を置くことで、自然と危機感を感じられて効率良く集中して勉強に励むことができましたし、また、トップレベルの人たちも必死に努力していることがよくわかりました。だから、長期の休みなどは毎日のように家から塾に通い、自習室を使わせていただきました。これら鉄緑会で経験したことは、僕を大きく成長させてくれました。僕が東大に合格できたのは鉄緑会のおかげであることは間違いありません。短い間ではありましたが、お世話になった先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。

東大理 I S.R. (神戸女学院卒)

鉄緑はとてもレベルが高く、追いつかなくなるときもありましたが、私の学校はとても勉強に関してゆるかったので、毎回復習テストがある鉄緑でとても鍛えられました！今まで教えてくださった先生方、本当にありがとうございました。

東大理 I F.T. (灘卒)

鉄緑会には中2のときから5年間お世話になりました。高3になるまでの4年間は、部活等で忙しく授業とそこで出される課題をこなすのに精一杯でしたが、それでも鉄緑会の授業が高2の終わりにまでに英語数学を完成させるというスタンスだったおかげで最低限の実力はついていたのではないかと思います。高3になってからは英数に加えて理科が本格的になり、センター試験の勉強も始めなければならない中、学校での行事も多く、心身ともにつらい状況でしたが、いつでも相談ののって下さるそれぞれの科目の先生方のおかげで1年間やり通すことができました。また、鉄緑会のテキストはとても質が高く、そのテキストを必死にこなしたおかげが過去問の演習にもスムーズにとりかかる事ができました。こうして無事に合格することができたのは鉄緑会のおかげです。本当にありがとうございました。

東大理 I Y.S. (灘卒)

鉄緑会には高1の終わり、実質高2から入会しました。鉄緑会の魅力は毎週の課題と仲間のレベルの高さです。僕は英語、数学(高2のときは数ⅢCも)、物理、化学をとっていたのですが、大学受験に対してモチベーションのまだ低い高2では、それら

で出される宿題がペースメーカーになります。そして高3では同じように合格を目指す仲間とともに授業やテスト演習を受けることでモチベーションを高く維持することができます。僕が高2から受験勉強を初めて東大に現役で合格できたのは、鉄緑会のおかげです。お世話になった先生方、そして共に学んだ仲間たちにはとても感謝しています。ありがとうございました。

東大理 I Y.S. (灘卒)

僕は高1の2学期から数学のみを受講しました。ありがたい言い方もかもしれませんが、鉄緑会の教材は量・質とともに他の予備校は足もとにも及ばないものです。それに加えて、ハイレベルな生徒がたくさんいて、絶えず刺激を受けられるところが魅力の一つであると思います。講師もとても有能な方がそろっていました。一つ問題点を挙げるとすれば、鉄緑会の建物の古さぐらいでしょうか。無事に合格できた今となってはそれとも良い思い出です。ちがう言い方をすれば、鉄緑会においては、よく練られたカリキュラムに沿って、与えられた課題さえこなしていけば、かなりの力がつくと保証します。最後になりますが、圧倒的数学力とぬくもりあふれる人柄で包みこんでくれた増井先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

東大文 I S.T. (灘卒)

私は中1から鉄緑会に通い始めました。中学校の時には勉強へのモチベーションもあまり上がりませんでした。年に2回ある校内模試では上のクラスに入るために勉強しました。高2で私は文系に進んだのですが、数学のクラスではまわりの人達がみな理系のトップクラスの人達ばかりで、とてもよい刺激を受けることができました。だいたいどの学年にも言えることですが、鉄緑という塾の長所は、他塾に比べて圧倒的に演習量が多いことです。かなりの量を短時間で解く訓練を行うことで、処理力が飛躍的に向上し、入試問題の量がどれだけ多くても全く動じることがなくなりました。最後になりますが、親身に生徒の事を思いやって非常にためになる授業をしてくださった藪下先生をはじめとする諸先生方、ありがとうございました。

東大文 I M.D. (灘卒)

私と鉄緑会

鉄緑に通うと学校の授業や部活との両立が困難になる。そんな誘いを耳にすることがあります。ですが、実際に鉄緑会に通って間もなく、そのような非難は的外れであることに気付きました。鉄緑会の課題は少なくともありませんが、実際には、計画的にこなせばさして多くはないと気づきます。鉄緑会の課題や授業によって高校生活が犠牲になるというのは全くあたらないと思います。むしろ、受験勉強を鉄緑会の課題に絞ってそれに専念することで、安心してほかの活動にも集中でき、より充実した高校生活を送ることができたと考えています。私は鉄緑会で沢山の先生方にお世話になりましたが、とりわけ英語科の岡先生にお世話になりました。特に高2以降私の英語力は格段に伸びましたが、それはひとえに先生のおかげです。受験を離れて英語の文章を読む際にも、先生の教えて下さったことが生きていることが頻繁にあります。それだけでなく、授業の範疇を超えて、しばしば先生にお世話になりました。私は度々色々な事柄を先生のもとに相談しに行ったのですが、その度に先生は温かく、それでいて冷静なコメントを下されました。何度も長時間にわたって面談していただいたことを記憶しています。このように、私が鉄緑会にお世話になったことは、受験勉強に限りません。生徒の目線に立ってくださる生徒思いの先生方に囲まれ、私は非常に幸運だったと思います。末筆ながら、お世話になった全ての先生方に謝意を表したいと思います。3年間、本当にありがとうございました。

東大文 I S.Y. (洛南卒)

高校進学をきっかけに入った鉄緑では、まず英語で自分と周

囲の差を感じました。こんなに出遅れている自分がこの先周りのみんなについていけるのかと不安だったことを覚えています。でも、鉄緑で課される宿題や復習テストの見直しなどに取り組むことで、高1の2回目の模試ではSAに上がることができました。日本でもトップレベルの学生と机を並べて勉強し、彼らの中の「普通」を体感できたことは、何にも変えられない貴重な体験だったと思います。常に間近で上を見れる環境こそが、鉄緑だけにしかない最大の魅力です。この環境がむしやりに頑張り続けられれば、必ず自分の目指すゴールに近付けるはずですが、最後になりましたが、質は高い一方で緩急もつけた授業を常に提供して下さいました先生方、特にお世話になった岡先生、奥野先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大文Ⅰ S.K. (神戸女学院卒)

私は中1の時に鉄緑会に入塾し、6年間英語と数学を受講しました。中学生の間は西宮教室でお世話になり、こじんまりとした居心地の良い環境で楽しく授業を受けていました。とはいえ鉄緑会のカリキュラムの進度はかなり速く、学習内容のレベルも高かったため、毎週与えられる宿題をきちんとこなしているだけでも、学校の定期考査で安定して良い成績を取れるようになりました。また、半年に一度の校内模試に向けて6か月間に学んだ内容を総復習することで、知識の定着が促進された上、集中して真剣に勉強する習慣を早い段階からつけることができたと思います。高校生になって大阪校に通うようになると、それまで以上に周囲のレベルが高くなったのを痛感しました。特に高1の前期に英語SAに入って神懸かった学力の持ち主達を目の当たりにし、私は常に劣等感を抱いていました。ちょうどこの頃が中高一貫校の中だるみの時期でもあり、テストの成績が悪くても「周りのレベルが高すぎるから、私の成績が相対的に下がっても仕方ない」と開き直っていました。その結果、夏の校内模試で失敗してしまい、そこで初めて危機感を持って奮起し、原因を分析した上で学習に誠実に向き合うようになりました。この時の奮起が功を奏して、半年後の校内模試では取り戻すことができました。全国模試の成績上位者の常連がこれほど多く集い、互いに切磋琢磨しあえる環境は他にはないと思います。本当に私は恵まれていました。

最後になりましたが、今までお世話になった全ての先生方、とりわけ約3年間私にはもったいないほどの素晴らしい授業を提供し、私の英語の成績向上の大きな助けとなって下さったチューターの岡先生と、面談では親身になって話を聞いて下さり、最後には後期対策として個人的に数Ⅲまで教えて下さった数学の奥野先生に、心から感謝を申し上げます。鉄緑会なくして、私の東大現役合格は叶いませんでした。本当にありがとうございました。

東大文Ⅱ H.Y. (小林聖心卒)

私は鉄緑会へは中2から英語、中3から数学を通い始めました。私の学校は進学校ではなく、中学校受験もしていなかった私は「塾に入りたい」という軽い気持ちで入塾しました。英語は帰国子女だったこともあり得意でしたが、鉄緑の授業や予習・復習を通して、英語の勉強の楽しさを感じながらさらに力を伸ばすことができました。数学は鉄緑会に入ってから初めて本格的に勉強し、英語と同様楽しく勉強しました。しかし、中3の夏の校内模試で良かったことから慢心してしまい、以後は調子を崩してしまいました。数学の勉強自体は好きだったので、先生方に励まし、見守っていただいたおかげで、無事合格できました。今回の入試で私が感じたことは、最後まで諦めないことです。私はセンター試験がふるわず、本番当日は数学が1題しか完答しかできませんでしたが、それでも先生方の励ましの言葉を思い出しながら最後までねばり続けたのが合格につながったのだと思います。どうぞ皆さんも最後まであきらめずに前向きに頑張ってください。最後になりましたが英語の岡先生、数学の奥野先生には本当に

世話になりました。どうもありがとうございました。

東大文Ⅱ K.R. (灘卒)

僕は中2から英語の受講を開始しました。しかし、この段階でクラブとの両立は難しく、鉄緑会から出される課題を消化できず、成績は右肩下がりででした。そんな時、身近に話を聞いてくれたのは他でもなく鉄緑会の先生でした。歳も近く、親しみやすく信頼できました。そのおかげで高校に入るころにはバランスを考えながら自分に必要な部分を見定める力を付けることができました。高3の6月末まで部活を続けられたのは鉄緑会のおかげと言っても過言ではないのです。先生のおっしゃることを信じ続けたからこそ、高3最後の半年で英語の成績は上がり続け、合格を勝ち取ることができたのだと強く感じ、先生に深い感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

東大理Ⅱ K.Y. (神戸女学院卒)

鉄緑に感謝

私は中1から英語と数学、高1から化学を受講しました。私の思う鉄緑の魅力は3つあります。一つ目は、質のいい演習をたくさん積むことができること。行事や習い事と両立しながら毎週の課題に取り組むのは大変でしたが、それでも必死に頑張っただけで、特に校内模試の前に集中的に勉強することで自然と実力がついたように思います。二つ目は、素晴らしい先生方がいること。鉄緑の先生方は大学生で親しみやすいですが、レベルは大変高度で、講師として丁寧な解説や添削をして下さりました。そして、何より受験の先輩として、親身になって相談に乗る的確なアドバイスを下さって、先生方には勉強面でも精神面でも本当に支えられました。三つ目は、周りの友達レベルが高いこと。鉄緑生は賢く、志の高い人が多かったため、良い刺激を受け、競い合うことで、6年間勉強し続けることができました。校内模試や復習テストで点数や順位が悪く、落ち込んだ時期もありましたが、受験生の中ではリードを得られる程の実力が実際についていたので、くじけず頑張り続けることが大切だと思います。

最後になりましたが、下仲先生、渡部先生、中野先生、井上先生、その他お世話になった先生方、事務所の方々、支えて下さった全ての方々感謝しています。ありがとうございました。

東大文Ⅲ U.S. (附天卒)

6年間鉄緑会に通うということ

私は中1から6年間、英語と数学で鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会のテキストは非常に詳しく、中1から取り組むことで高3になっても余裕を保つことができました。そして、全国トップレベルの生徒が集まる環境の中で中高6年間学べたことは、本当に私の宝です。鉄緑会のテキストと生徒のレベルの高さは間違いなく日本一です。また、鉄緑会の先生方には勉強だけでなく、決めることができず不安で仕方がなかった人生の進路など、様々な事柄について相談に乗っていただき、そのおかげで迷いを断つことができました。それから、中学校から6年間もずっと通える数少ない塾であるということのも鉄緑会の強みです。6年間週に2回通い続けた鉄緑会では、沢山の大切な友人ができました。いずれも6年の間ともに切磋琢磨し続けてきて、常に私に刺激を与えてくれた素晴らしい友人ばかりです。最後になりましたが、お世話になりました先生方、事務の皆様、長い間本当にありがとうございました。